

1 普及活動 Educational Activities

1-1 資料の収集及び図書室の公開 Acquisition of Non-Film Materials and the Library

フィルムセンター図書室では、一定の網羅性を目指して、映画関連の新刊書と雑誌の収集を行うとともに、未所蔵の古書や一般の書籍流通ルートには乗らない刊行物の収集にも努めている。

公開への準備としては、今後のデータベース登録を見越して図書室内の映画雑誌、外国映画祭カタログのリスト化を進めている。映画パンフレットについてはOPACデータベースへの登録が進み、当初公開された分の外国映画パンフレットの登録がほぼ終了している。

①収集活動

収集件数 3,195件

②図書室公開活動

公開日数 226日
 公開件数 39,374件(和書34,959件/洋書4,415件)
 入室者数 3,731人
 公開請求件数 982件
 複写利用数 1,175人(16,582枚)

1-2 学校や社会教育施設への幅広い学習機会の提供 Aid for Research and Study

◆特別映写観覧による職能教育研修会等への協力

実施件数：12件(全186件中)

参加者数：計574人

◆小中学高等学校・大学の授業等への協力

実施件数：11回

参加者数：計184人

◆研修等への協力

実施件数：13件

参加者数：計127人

◆「こども映画館 2012年の夏休み」

内 容：11年目を迎えた「こども映画館」では、本年も映画上映に施設見学や弁士・伴奏付きの無声映画上映などを組み合わせるスタイルを踏襲しつつ、子どもたちが日常のテレビやDVDなどでは接する機会を持ちにくい映画遺産に触れる機会を作るとともに、写真画像や手作りの動画等も用いて、わかりやすい解説を行うよう心がけた。

実施回数：4回(平成24年7月27日(金)、7月28日(土)、8月3日(金)、8月4日(土))

参加者数：394人

会 場：小ホール

◆相模原分館における小・中学生を対象とした上映会

内 容：相模原分館では、相模原市及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と締結した文化事業等協力協定により、相模原市内の小・中学生並びに相模原市及びJAXAとの共催事業の参加者を対象に、無料で映画鑑賞と保存施設の案内を実施した。映画フィルムの受入・検査・収納までの工程を解説し、多くの参加者から好評を得、映画フィルムの保存についても普及することができた。

◆相模原分館 『6.13「はやぶさ」帰還記念日イベント』

内 容：相模原市・宇宙航空研究機構・東京国立近代美術館の間で締結した「文化事業等の協力協定」を基に実施した。(上映作品『はやぶさ 遥かなる帰還』)

実施回数：2回(平成24年6月13日(水))

参加者数：380人

会 場：相模原分館

◆相模原分館 JAXA相模原キャンパス特別公開2012

宇宙科学セミナー/所蔵フィルム上映&施設探検ツアー

内 容：相模原市・宇宙航空研究機構・東京国立近代美術館の間で締結した「文化事業等の協力協定」を基に実施した。(上映作品『日本の科学衛星 宇宙の探求』)

実施回数：6回(平成24年7月27日(金)、7月28日(土))

参加者数：1,001人

会 場：相模原分館

◆相模原分館 さがみ風っ子 親子映画鑑賞会

内 容：相模原市・東京国立近代美術館の間で締結した「文化事業等の協力協定」を基に実施した。

(上映作品『マッチ売りの少女』『月夜とめがね』『ポロンギター』)

実施回数：2回(平成24年10月28日(日))

参加者数：35人

会 場：相模原分館

◆相模原分館 「相模原市内の小・中学生を対象とした上映会」

内 容：相模原市・東京国立近代美術館の間で締結した「文化事業等の協力協定」を基に実施した。

（上映作品『菊次郎の夏』『がんばっていきまっしょい』）

実施回数：2回（平成25年3月1日（金）、3月21日（水））

参加者数：246人

会 場：相模原分館

1-4-1 講演会・シンポジウム Lecture / Symposium

①ユネスコ「世界視聴覚文化遺産の日」記念特別イベント

「講演と弁士・伴奏付き上映 日活映画の起源」

実施日：平成24年11月3日(土)

開催場所：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

参加者数：185人

上映：『慈悲心鳥』[断片](1927年、溝口健二監督)

『1931年日活オンパレード』[断片](1931年、阿部豊監督)

『堀久作社長の帰朝』(1951年)

講演：佐相勉(映画研究者) 「『慈悲心鳥』と日活時代の溝口健二」

弁士・伴奏付き上映：澤登翠(台本、語り) 『新派 二人静』(1922年、大洞元吾監督)

②『地獄門』デジタル復元版 特別上映会トーク・イベント

実施日：平成24年4月28日(土) 1回

開催場所：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

参加者数：280人

ゲスト：森田富士郎(撮影監督、『地獄門』デジタル復元監修
三浦和己(株式会社IMAGICA)

1-4-2 ゲストトーク Post-Screening Talk

①企画上映「EUフィルムデーズ2012」

開催回数：7回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成24年5月26日(土) 3:30pmの回	フォニョー・ゲルゲイ (『メイド・イン・ハンガリー』監督) ネメーニ・アーダーム (『メイド・イン・ハンガリー』プロデューサー) 田中千世子(映画監督、評論家)
平成24年5月27日(日) 2:00pmの回	杉原賢彦(映画評論家)
平成24年5月27日(日) 5:00pmの回	ペーター・シュトラー (オーストリア大使館文化担当公使)
平成24年6月1日(金) 3:00pmの回	ペーター・シュトラー (オーストリア大使館文化担当公使)
平成24年6月5日(火) 7:00pmの回	杉原賢彦(映画評論家)

平成24年6月7日(木) 7:00pmの回 ペトル・ホリー (チェコセンター所長)
 平成24年6月13日(水) 3:00pmの回 ミッコ・コイヴマー (フィンランド大使館報道・文化担当参事官)

参加者数：1,448人

②共催上映第34回PFFぴあフィルムフェスティバル

開催回数：24回

開催場所：大ホール・小ホール

ゲスト：[大ホール]

平成24年9月19日(水) 0:30pmの回 渡部亮平 (『かしこい狗は、吠えずに笑う』監督)
 山戸結希 (『Her Res ～出会いをめぐる三分間の試問3本立て～』監督)

平成24年9月19日(水) 3:30pmの回 二ノ宮隆太郎 (『魅力の人間』監督)
 佐久川満月 (『オハヨー』監督)

平成24年9月19日(水) 6:30pmの回 三宅唱 (『Playback』監督)
 渋川清彦 (『Playback』出演)
 三浦誠己 (『Playback』出演)
 山本浩司 (『Playback』出演)

平成24年9月20日(木) 0:30pmの回 河合健 (『極私的ランナウェイ』監督)
 川原康臣 (『ゆれもせで』監督)

平成24年9月20日(木) 3:30pmの回 嶺豪一 (『故郷の詩』監督)
 工藤隆史 (『継母』監督)

平成24年9月20日(木) 6:30pmの回 青石太郎 (『Please Please Me』監督)
 加藤綾佳 (『水槽』監督)

平成24年9月21日(金) 0:30pmの回 弓場絢 (『リコ』監督)
 イノウエカナ (『あん、あん、あん』監督)

平成24年9月21日(金) 3:30pmの回 鶴岡慧子 (『くじらのまち』監督)
 加藤秀則 (『あの日から村々する』監督)

平成24年9月21日(金) 6:30pmの回 熊坂出 (『リルウの冒険』監督)

平成24年9月22日(土) 11:30amの回 伊藤智之 (『stay チューン』監督)

平成24年9月22日(土) 2:45pmの回 永山正史(『飛び火』監督)
 渡部亮平(『かしこい狗
 は、吠えずに笑う』監督)
 山戸結希(『Her Res ～
 出会いをめぐる三分間の
 試問3本立て～』監督)

平成24年9月22日(土) 6:00pmの回 河合健(『極私的ランナ
 ウエイ』監督)
 川原康臣(『ゆれもせで』
 監督)

平成24年9月23日(日) 0:15pmの回 二ノ宮隆太郎(『魅力の
 人間』監督)
 佐久川満月(『オハヨー』
 監督)

平成24年9月23日(日) 3:15pmの回 嶺豪一(『故郷の詩』監督)
 工藤隆史(『継母』監督)

平成24年9月23日(日) 6:15pmの回 弓場絢(『リコ』監督)
 イノウエカナ(『あん、あ
 ん、あん』監督)

平成24年9月25日(火) 11:45amの回 青石太郎(『Please Please
 Me』監督)
 加藤綾佳(『水槽』監督)

平成24年9月25日(火) 3:00pmの回 伊藤智之(『stay チュー
 ン』監督)

平成24年9月25日(火) 6:15pmの回 永山正史(『飛び火』監督)
 鶴岡慧子(『くじらのま
 ち』監督)
 加藤秀則(『あの日から
 村々する』監督)

平成24年9月26日(水) 1:00pmの回 岡島尚志(フィルムセン
 ター主幹)

平成24年9月27日(木) 6:30pmの回 廣原暁(『HOMESICK』監
 督)
 郭 智博(『HOMESICK』
 出演)
 金田悠希(『HOMESICK』
 出演)
 本間 翔(『HOMESICK』
 出演)
 船曳健太(『HOMESICK』
 出演)
 阿部翔平(『HOMESICK』
 出演)
 船崎飛翼(『HOMESICK』
 出演)
 奥田恵梨華(『HOME
 SICK』出演)

[小ホール]

平成24年9月22日(土) 2:00pmの回 黒沢清(『贖罪』監督)
平成24年9月23日(日) 11:30amの回 芦澤明子(撮影監督)
平成24年9月23日(日) 2:30pmの回 芦澤明子(撮影監督)
平成24年9月23日(日) 5:45pmの回 石井裕也(『エンドロール
～伝説の父～』監督)

参加者数：3,129人

③企画上映「自選シリーズ 現代日本の映画監督1 崔洋一」

開催回数：15回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成25年3月20日(水) 2:50pm 崔洋一(映画監督)
内田裕也(俳優)
平成25年3月22日(金) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月24日(日) 1:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月24日(日) 4:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月26日(火) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月26日(火) 7:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月27日(水) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月28日(木) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月28日(木) 7:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月29日(金) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月30日(土) 1:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月30日(土) 2:55pm 崔洋一(映画監督)
平成25年3月30日(土) 5:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月31日(日) 1:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月31日(日) 4:00pmの回 崔洋一(映画監督)

参加者数：2,675人

1-4-3 ギャラリー・トーク Gallery Talk

①「ロードショーとスクリーン 外国映画ブームの時代」

開催回数：2回

開催場所：展示室

平成24年5月19日(土) 坂上直行氏(元日本ヘラルド映画宣
伝部、ゴー・シネマ代表取締役社長)
平成24年7月7日(土) 竹内康治氏(元東宝東和宣伝部、映
画倫理委員会)

参加者数：111人

②「日活映画の100年 日本映画の100年」

開催回数：7回

開催場所：展示室

平成24年8月18日(土) 上田学(早稲田大学演劇博物館招聘
研究員)
平成24年9月8日(土) 岡田秀則(フィルムセンター主任研

	究員)
	佐崎順昭(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)
平成24年9月29日(土)	紙屋牧子(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)
平成24年10月20日(土)	佐藤千紘(恵泉女学園大学非常勤講師)
平成24年11月24日(土)	板倉史明(神戸大学国際文化学部准教授)
平成24年12月15日(土)	鈴木義昭(映画史研究者、ルポライター)
平成24年12月22日(土)	佐崎順昭(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)
	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)

参加者数：406人

③「^{ウェスタン}西部劇の世界 ポスターでみる映画史 Part1」

開催回数：3回

開催場所：展示室

平成25年1月31日(木)	畑暉男(映画研究者)
平成25年2月23日(土)	濱口幸一(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)
平成25年3月23日(土)	柳下毅一郎(映画評論家、翻訳家)

参加者数：292人

④常設展ギャラリー・トーク

開催回数：11回

開催場所：展示室

平成24年 4月14日(土)	佐崎順昭(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)
平成24年 5月 5日(土)	板倉史明(フィルムセンター主任研究員)
平成24年 6月 2日(土)	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)
平成24年 7月 7日(土)	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)
平成24年 9月 1日(土)	大澤浄(フィルムセンター研究員)
平成24年10月 6日(土)	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)
平成24年11月10日(土)	大傍正規(フィルムセンター研究員)
平成24年12月 1日(土)	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)
平成25年 1月12日(土)	佐崎順昭(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)

平成25年 2月 2日(土)

稲垣涌三(撮影監督、日本映画
撮影監督協会事務局長)

平成25年 3月 2日(土)

音声資料紹介(解説：佐崎順
昭)

参加者数：218人

◆インターンシップ

受入期間 平成24年5月～8月（4カ月）、平成24年11月～平成25年2月（4カ月間）
 実施場所 フィルムセンター
 参加人数 2名
 事業内容 イベント運営など事業推進室の業務全般、情報資料室の所蔵資料整理

◆博物館実習

受入期間 平成24年8月21日～8月25日（5日間）
 実施場所 フィルムセンター
 参加人数 13名
 事業内容 フィルムセンター各室の業務に関わる講義と実習

◆大学等連携事業

実施件数 4件

◆特別映写観覧による大学等への協力

実施件数 53件(213本)

◆国立美術館内での連携

京都国立近代美術館との連携

「NFC所蔵作品選集 MoMAK Films@home 2012」

期 間：平成24年4月から12月まで隔月開催(述べ上映日数10日間)

会 場：京都国立近代美術館

「日本の映画ポスター芸術」

期 間：平成24年10月31日(水)～12月24日(月・祝)

会 場：京都国立近代美術館

国立国際美術館との連携

「第5回中之島映像劇場 浪花の映像【キネマ】の物語

—東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品から—

期 間:平成25年3月16日(土)、17日(日) 計2日間4回

会 場：国立国際美術館



□「第34回PPFぴあフィルムフェスティバル」(共催者)

29.7×21cm/60p

発行年：平成24年9月18日

責任編集：荒木啓子

編集：片岡真由美

発行：東京国立近代美術館

編集：東京国立近代美術館フィルムセンター



- 平成24年度優秀映画鑑賞推進事業 鑑賞の手引
29.7×21cm/54p (表紙A3番1回織1枚、作品解説A4判25枚)
編集：東京国立近代美術館フィルムセンター
デザイン・制作：株式会社オーエムシー
発行日：平成24年6月30日

・展覧会出品目録・ガイド(3回)



- 「ロードショーとスクリーン
外国映画ブームの時代」出品リスト
22.5×10cm/8p
発行日：平成24年4月11日



- 「日活映画の100年
日本映画の100年」出品リスト
22.5×10cm/8p
発行日：平成24年8月14日



- ウエスタン
□「西部劇の世界
ポスターでみる映画史Part1」出品リスト
22.5×10cm/8p
発行日：平成25年1月8日

29.7×21cm

大ホール上映作品解説／上映スケジュール



□2012年4月号
よみがえる日本映画vol.4
〔大映篇〕
一映画保存のための特別事業費による
4p



□2012年5月号
生誕百年
映画監督 今井正(1)
4p



□2012年6月号
EUフィルムデーズ2012
4p



□2012年7月号
ロードショーとスクリーン
ブームを呼んだ外国映画
4p



□2012年8月号
生誕百年
映画監督 今井正(2)
4p



□2012年9月号
シネマの冒険
闇と音楽2012
ロシア・ソビエト
無声映画選集
2p



□2012年10月号
生誕百年
木下恵介劇場
4p



□2012年11月
—2013年1月号
日活映画の100年
日本映画の100年
8p



□2013年2月号
よみがえる日本映画vol.5
〔日活篇〕
—映画保存のための特別事業費による
4p



- 2013年3月号
- 自選シリーズ
- 現代日本の映画監督1
- 崔洋一
- 2p

2-3-2 展覧会チラシ Publicity Flyers / Exhibitions

29.7×21cm



- ロードショーとスクリーン
- 外国映画ブームの時代
- 2p



- 日活映画の100年
- 日本映画の100年
- 2p



- 西部劇の世界
- ポスターでみる映画史
- Part1
- 2p

29.7×21cm

(ア)フィルムセンター発行



□《京橋映画小劇場No.23》
「映画の教室2012」
2p



□《京橋映画小劇場No.24》
「アンコール特集：2011年度
上映作品より」
2p



□《京橋映画小劇場No.25》
「東京国立近代美術館60周年
記念 美術館と映画：フィル
ムセンター以前の上映事業」
2p



□カルト・ブランシュ
～期待の映画人・文化人が
選ぶ日本映画～
2p

(イ)共催者発行

26×18cm



□EUフィルムデーズ2012
4p



□第34回PFF ぴあフィルム
フェスティバル
2p

29.7×21cm



- こども映画館
- 2012年の夏休み
- 2p

29.7×21cm

発行・著作：東京国立近代美術館

編集：東京国立近代美術館フィルムセンター



- 第102号(2012年4月-5月号)
 特集1：ロードショーとスクリーン
 外国映画ブームの時代
 特集2：よみがえる日本映画[大映篇]
 特集3：『地獄門』デジタル復元
 発行日：平成24年4月1日



- 第103号(2012年6月-7月号)
 特集1：生誕百年 映画監督 今井正
 特集2：ロードショーとスクリーン
 ブームを呼んだ外国映画
 発行日：平成24年6月1日



- 第104号(2012年8月-9月号)
 特集：議会図書館パッカード・キャンパス
 の視聴覚保存
 生誕百年 映画監督 今井正
 シネマの冒険 闇と音楽
 日活映画の100年 日本映画の100年
 発行日：平成24年8月1日



- 第105号(2012年10月-11月号)
 特集：映画はどこで、どのように保存さ
 れているのか対談「映画保存の現
 在と未来」
 生誕百年 木下恵介劇場
 日活映画の100年 日本映画の100年
 発行日：平成24年10月1日



- 第106号(2012年12月-2013年1月号)
 東京国立近代美術館開館60周年
 特集1：美術館と映画 フィルムセンター以
 前の上映事業
 特集2：西部劇の世界 ポスターでみる映画
 史 Part 1
 発行日：平成24年12月1日



- 第107号(2013年2月-3月号)
 特集：映画保存とフィルム・アーカイブ
 活動の現状に関するQ&A
 よみがえる日本映画[日活篇]
 自選シリーズ 現代日本の映画監
 督1 崔洋一
 発行日：平成25年2月1日

(ア)上映会のためのハンドアウトの発行 114～117号(4部)

事業関連の情報を提供する「NFCメールマガジン」は着実に登録者が増えている。またNFCD（フィルムセンターデータベース）については、ウェブ化開始以来の懸案であった人物データのコンバートが完了して以降は、継続的に人物情報の統合作業を進めている。また、資料整理の進化とともにNFCDの改造を計画し、フィルムの運用を細やかに管理するとともに、プレス資料（プレスシート、チラシ等）をNFCD上で登録できるように作業を進めている。

また、映画関連資料へのアクセス希望に対しては、図版提供をすみやかに行うためにデジタル・データの形で提供する傾向が定着しているが、これまでにデータ化された写真等の画像を円滑に活用するため、共有ファイル内に設けた「画像集積所」のさらなる充実を目指した。